

10. 物価

国内企業物価は、素材価格の上昇により上昇している。消費者物価は、わずかながら上昇している。

(前年同期(月)比、()内は前期(月)比、<>内は季節調整済前期(月)比、%)

		2006年度	2007年度	10-12月	2008年1-3月	1月	2月	3月	
国内企業物価		2.1	P 2.2	(0.5) 2.3	P (1.0) 3.5	(0.3) 3.1	(0.5) 3.6	P (0.5) 3.9	
輸出物価		3.2	P ▲ 0.2	(▲ 2.6) ▲ 1.6	P (▲ 3.7) ▲ 5.9	(▲ 2.4) ▲ 5.7	(0.4) ▲ 5.2	P (▲ 3.0) ▲ 6.8	
契約通貨ス		0.3	P 0.2	(▲ 0.5) ▲ 0.3	P (0.8) 1.0	(0.3) 0.5	(0.6) 1.1	P (0.6) 1.4	
輸入物価		10.5	P 8.2	(2.8) 9.5	P (0.2) 8.8	(▲ 2.3) 7.1	(1.6) 11.0	P (▲ 2.7) 8.3	
契約通貨ス		7.5	P 10.1	(6.0) 12.6	P (6.2) 19.9	(1.2) 16.9	(1.9) 21.3	P (2.0) 21.6	
企業向けサービス価格		0.2		(0.6) 1.4		(▲ 1.2) 0.6	P (0.3) 0.7		
海外要因を除くベース		▲ 0.1		< ▲ 0.2 > 0.0		< 0.0 > 0.1	P < 0.1 > 0.1		
消費者物価	総合固定基準	0.2		< 0.4 > 0.5		< 0.0 > 0.7	< 0.1 > 1.0	< 0.0 > 0.4	
	生鮮食品を除く総合(コア)	固定基準	0.1		< 0.5 > 0.5		< 0.1 > 0.8	< 0.1 > 1.0	< ▲ 0.1 > 0.4
		連鎖基準	0.0		0.3		P 0.8	P 0.8	P 0.2
	生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合(コアコア)	▲ 0.3		< 0.2 > 0.0		< 0.0 > 0.2	< 0.1 > 0.3		
GDPデフレーター		▲ 0.8		< ▲ 0.7 > ▲ 1.3		—	—	—	

消費者物価
(東京都区部)
2月 3月(P)
< 0.0 > < 0.2 >
0.4 0.6
< ▲ 0.1 > < 0.1 >
0.4 0.6
P 0.2 —

- (備考) 1. 企業物価、消費者物価は2005年基準、それ以外は2000年基準。Pは速報値。
2. 企業向けサービス価格の海外要因を除くベースは、国際航空旅客輸送、定期船、不定期船、外航タンカー、外航貨物用船料、国際航空貨物輸送を除いたもの。
3. 消費者物価の「生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合」は、生鮮食品を除く総合から、石油製品、電気代、都市ガス代、米類、切り花、鶏卵、固定電話通信料、診療代、介護料、たばこを除いたもの。
4. GDPデフレーターの季節調整済前期比、企業向けサービス価格の海外要因を除くベース及び消費者物価のコアコアは、内閣府経済財政分析総括担当試算値。

